

教科	英語	科目名	英語コミュニケーション I	単位数	3	開講対象 年次コース	1 年次
使用教科書		MY WAY English Communication I (三省堂)					
副教材等		MY WAY English Communication II Workbook STANDARD (三省堂)、 コーパス3000 4th Edition(東京書籍)Active Listening 1,2 (第一学習社)					
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

科目の学習到達目標として、1.日常的なトピックに関する簡単な会話を聞き取り、適切に応答できる。自分の経験や考えを、基本的な表現を用いて相手に伝えることができる。2.場面に応じた適切な表現を用いる。また、相手の発言を理解し、それに応じた返答をすることができる。3.基本的なリスニング力を向上させ、英語特有のリズムやイントネーションを意識しながら、簡単な英語の音声を理解することができる。短い会話やアナウンスを聞いて、要点を正しく把握することができる。4.英語で質問をしたり意見を述べたりすることで、論理的に考えを組み立てる力を伸ばす。5.ペアワークやグループワークを通じて、自ら積極的に英語を使用しようとする姿勢を養う。間違いを恐れず、実践的に学習を進める態度を身につける。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を習得できたか。英語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けることができたか。
②思考・判断・表現	外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合うことができたか。
③主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしていたか。外国語学習に主体的に取り組んでいたか。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		課題提出	英チェック	コーパステスト	パフォーマンステスト	単元テスト
①知識・技能	授業中の課題、単元テスト、英チェック、パフォーマンステスト、コーパス	○	○	○	○	○
②思考・判断・表現	授業中の課題、パフォーマンステスト、単元テスト	○			○	○
③主体的に学習に取り組む態度	英チェック、コーパス、Duolingo パフォーマンステスト	○	○	○	○	

以上を総合的に判断して決定します。

3 担当者から

本年度の英語コミュニケーション I では、教科書の内容を精選し、各時期・単元ごとに重点的に学習する技能を設定しています。単元テストやパフォーマンステストを通じて、特にリスニング力・スピーキング力の向上を目指し、日常的なやり取りや発話の機会を大切にしていきます。また、今年度より「英チェック」が導入され、語彙力が成績に大きく反映されるようになります。日々の英語学習の中で、新しい単語や表現を確実に身につけ、実際のコミュニケーションに活かせるようにしましょう。英語は「使う」ことで上達します。ペアワークやグループワークにも積極的に参加し、間違いを恐れずに英語を話すことを楽しんでください。学んだ表現を実際に使うことが、最も効果的な学習方法です。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	ガイダンス スピーキングテスト	8	
5	L1. Proverbs Around the World	8	時制
6	L2. Iwago Mitsuaki — An Animal Photographer	11	助動詞、受け身、助動詞の受け身、マイレージ
7	L3. Sending Canned Mackerel to Space	6	動名詞 / to 不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to 不定詞の形容詞的用法
8	L4. Messages from Winnie-the- Pooh	6	現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了形
9	L5. Endangered Languages	8	関係代名詞（主格） / 関係代名詞（目的格） / 関係代名詞 what / It is ... to 不定詞
10	L6. A Wheelchair Traveler	12	現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 / 分 詞構文 / It is ... that～
11	L7. The Fugees	8	関係副詞 where / 関係副詞 when / 関係副詞 why / 比較 級・最上級
12	L8. Avatar Robots	10	条件を表す if 節 / 仮定法過去 / I wish ～ / as if ～
1	L9. Kadono Eiko and the Power of Imagination	6	SV01 02 (02 = how to ～) / SV0 + to 不定詞 / SV0C (C = 動詞の原形) / SV0C (C = 現在分詞)
2	L10. SDGs — Sustainable Development Goals	8	SDGsに関するプレゼンテーション
3	復習	14	
備考	105 スピーキングテストの練習は日ごろの授業の中でも行います。 英検3級～準2級の2次対策を目標に取り組む予定です。 毎月の単元は進度によって速度が変更することがありますが、その都度授業内 で周知します。		

教科	英語	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4	開講対象 年次コース	2年次
教科担任							
使用教科書		MY WAY English Communication Ⅱ (三省堂)					
副教材等		MY WAY English Communication Ⅱ Workbook STANDARD (三省堂)、コーパス3000 4th Edition (東京書籍) Active Listening 1,2 (第一学習社)					
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

日常的・社会的な話題について、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けることができたか。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できたか。
②思考・判断・表現	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合えることができたか。
③主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしていたか。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点および評価の割合	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	考查	パフォーマンステスト	休業明けテスト
①知識・技能	英チェック、考查、パフォーマンステスト、休業明けテスト	○		◎	○	◎
②思考・判断・表現	授業中の課題、考查、パフォーマンステスト	○	○	◎	◎	
③主体的に学習に取り組む態度	毎日の授業の取り組み状況	◎	◎		○	

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

「何のために英語を学習するか」を明確にすることはモチベーションを維持していくときに役立ちます。大学受験で必要だから、留学したいから、洋楽を楽しみたいから。人それぞれです。もし目標が見つからない人は、とりえず英検などの資格を目標にしてもいいと思います。実際に3級から受験してどんどん上の級を目指していく人もいます。スモールステップ(目標を細かく分けて簡単な内容から少しずつ達成していくこと)を早い段階から進めていくことで、勉強することに慣れていきますので、毎日の習慣を大切にしていきましょう。英語が苦手な人は、工夫して勉強している友達のやり方が参考になることもあります。自分に合った勉強方法を模索してみましょう。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4 5	L1Dances Around the World	14	SV0 (O=that/what節) / SV0 (O=if/whether節) / SV0102 (O2=if/that/what節)
5 6	L2Katsura Sunshine—Making the World Laugh	14	形式主語のit / 形式目的語のit① / 形式目的語のit②
6 7	L3Living with Nature—Takita Asuka's Journey	14	現在完了形・現在完了進行形 / 過去完了 形 / 過去完了進行形
7 8	L4Sesame Street パフォーマンステスト	14	SVOC (V=知覚動詞、C=動詞の原形) / SVOC (V=知覚動詞、C=過去分詞) / SVOC (V=使役動詞have/make、C=過去 分詞) / help+O+動詞の原形
9 10	L5From Landmines to Herbs	14	関係代名詞(主格) / 前置詞+関係代 名詞 / 関係代名詞の非制限用法 / 関係 副詞の非制限用法
10 11	L6Murals—The Power of Public Art	14	助動詞 / 助動詞の過去形を使った表現 / 助動詞+have+過去分詞 / 完了不定詞
11 12	L7“Englishes” in the World	14	分詞構文 / 受け身の分詞構文 / 完了形 の分詞構文 / 付帯状況with
12 1	L8Deepika Kurup—The Science Behind Clean Water	14	仮定法過去 / 仮定法過去完了 / ifを使わ ない仮定法 / no matter+疑問詞
1 2	L9The World's Poorest President	14	同格を表すthat節 / 強調構文 / 倒置/ 省略
2 3	L10Living in an E-Society—The Pros and Cons パフォーマンステスト 140	14	デジタル社会 / 討論 / 日常生活
備考	スピーキングテストの練習は日ごろの授業の中で行います。レベルとは英検 準2級～3級の2次対策を目標に取り組む予定です。 毎月の単元は進度によって速度が変更することがあります。		

教科	英語	科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4	開講対象 年次コース	3年次 必修
教科担任		MY WAY English Communication Ⅲ					
使用教科書		MY WAY English CommunicationⅢ Workbook STANDARD (三省堂)、 コーパス3000 4th Edition(東京書籍)Active Listening 4 SECOND EDITION (第一学習社)					
副教材等							
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

日常的・社会的な話題について、1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能が身に付いているか。 学習を通して、言語の働きや役割などを理解できているか。
②思考・判断・表現	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを的確に理解し、適切に伝え合えることができたか。
③主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしていたか。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観 点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		単元 テスト	パフォー マンス テスト	英チェッ ク	コーパス テスト	課題提出
①知識・技能	単元テスト、英チェック、コーパス、 課題	◎		○	○	○
②思考・判断・表現	単元テスト、パフォーマンステスト、 課題	◎	◎			○
③主体的に学習に取り組む態度	パフォーマンステスト、英チェック、 コーパス、課題		○	◎	○	○

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

教科書の内容を精選し、各時期・単元において学習・評価する技能を設定します。
単元テストやパフォーマンステスト等、伸ばしたい能力を意識しながら取り組んでください。
・英チェックの開始により語彙力が成績に大きく反映されます。
日頃の積み重ね(毎週のコーパステスト含む)がさらに重要になりますので、継続的な学習が必須です。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	・ UNIT 1 ・ Listening ・ Speaking ・ Vocabulary	9	・ UNIT 1 (Strategy 1, 2, 3 必要な情報を読み取る) ・ Listening (Lesson 1, 3, 4 必要な情報を聞き取る) ・ Speaking (自己紹介に関するプレゼン) ・ Vocabulary (コーパステスト)
5	・ UNIT 1 ・ Listening ・ Speaking ・ Vocabulary	11	・ UNIT 1 (Strategy 4, 5, 5, 6, 7, 8 必要な情報を読み取る) ・ Listening (Lesson 5, 12, 10 (, 11) 必要な情報を聞き取る) ・ Speaking (自己紹介に関するプレゼン) ・ Vocabulary (英チェック、コーパステスト)
6	・ UNIT 2 ・ Listening ・ Speaking ・ Vocabulary	16	・ UNIT 2 (Lesson 1, 3, 4 文章を読み要点を整理して理解する) ・ Listening (Lesson 2, 6, 7, 8, 9 音声を聞き適切な応答を選択する) ・ Speaking (日本文化に関するプレゼン) ・ Vocabulary (コーパステスト)
7,8	・ UNIT 2 ・ Listening ・ Vocabulary	16	・ UNIT 2 (Lesson 4, 2, 5 文章を読み要点を整理して理解する) ・ Listening (Lesson 13, 14, 15 音声を聞き適切な応答を選択する) ・ Vocabulary (英チェック、コーパステスト)
9	・ UNIT 2 ・ Listening ・ Vocabulary	16	・ UNIT 2 (Lesson 5, 6, 7 文章を読み要点を整理して理解する) ・ Listening (Lesson 16, 17, 18 長めの音声を聞き情報を整理しながら聞き取る) ・ Vocabulary (英チェック、コーパステスト)
10	・ UNIT 3 ・ Listening ・ Vocabulary ・ Writing	16	・ UNIT 3 (Lesson 8, 9, 10 文章を読みそれぞれの利点・欠点を理解する) ・ Listening (Lesson 19, 20 長めの音声を聞き論点や関連する内容を理解する) ・ Vocabulary (コーパステスト) ・ Writing (トピックに関して、利点・欠点をまとめながら、自分の意見を
11	・ Vocabulary ・ Writing ・ Speaking	16	・ Vocabulary (コーパステスト、英チェック) ・ Writing (トピックに関して、利点・欠点をまとめながら、自分の意見を書く) ・ Speaking (トピックに関して、利点をまとめ、自分の意見を述べる)
12 1	・ 復習	20	・ 復習
備考	パフォーマンステストを年数回実施予定（詳細は授業の中で）		

教 科	英語	科目名	論理表現 I	単位数	2	開講対象 年次コース	1年次
使用教科書		EARTHRISE English Logic and Expression I Standard					
副教材等		EARTHRISE English Grammar in 22 Stages					
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を習得できたか。外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けることができたか。
②思考・判断・表現	外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合うことができたか。
③主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしていたか。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観 点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度			
		授業	課題提出	パフォーマンステスト	単元テスト
①知識・技能	単元テスト、課題、パフォーマンステスト		○	○	○
②思考・判断・表現	課題、エッセイライティング(パフォーマンステスト)、単元テスト		○	○	○
③主体的に学習に取り組む態度	パフォーマンステスト、Duolingo、授業	○	○	○	

以上を総合的に判断して決定します。

3 担当者から

英文法を学ぶ理由は、英文ができるルールを知り、実際の場面で使えるようにすることです。この法則を知っていることで、どこの国のどの年齢の人ともコミュニケーションがとれるようになります。英文法を知識で終わらせず、既習の表現を使える(話す、書く)よう練習しましょう。声に出し話してみたり、作文してみたり、反復することが大切です。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	L1.I want to introduce my new friend	5	【文の種類】紹介、応答する、理由を述べる
5	L2.How about joining our group?	6	【文型と動詞】学校生活、賛成する、反対する、聞き直す
6	L3.I'M planning a day trip this weekend.	8	【時制】旅行、観光、激励する、計画する、予定する
7	L4. Have you ever tried it before?	8	【完了形】趣味、関心、経験を訪ねる、述べる
8	L5. What do you want to do after high school?		【助動詞】将来・進路、許可を求める、義務必要を表す、自省する
9	L6.Did you hear about the new shop?	6	【受動態】日常生活、影響を表す、喜び、驚きを表す
10	L7. I'm happy to have you with us.	9	【不定詞】交流・交際、感謝する、謝罪する
11	L8.What sport do you like playing?	11	【動名詞】スポーツ・健康、誘う、申し出る、推薦する
12	L9. Digital media has come a long way.	9	【分詞】メディア・コミュニケーション、描写する、判断の根拠を述べる
1	L10. That's why I decided to go back.		【関係詞】文化、異文化理解、定義する、言い換える、経緯を説明する
2	L11. Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?	8	【比較】国際問題、提案する、賞賛する
3	L12. If I were you, I'd see it as a positive.		【仮定法】助言を求める、助言する、願望を表す
70			
備考	パフォーマンステストも実施予定です。詳しくは授業の中で説明します。		

教科	英語	科目名	論理表現Ⅱ	単位数	2	開講対象 年次コース	2年次
教科担任							
使用教科書		EARTHRISE English Logic and Expression II Standard					
副教材等							
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を習得できたか。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けることができたか。
②思考・判断・表現	○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合うことができたか。
③主体的に学習に取り組む態度	○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしていたか。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	考查	パフォーマンステスト	単元テスト
①知識・技能	単元テスト、考查、パフォーマンステスト			◎	◎	○
②思考・判断・表現	考查、パフォーマンステスト、単元テスト			◎	◎	○
③主体的に学習に取り組む態度	授業、課題提出、パフォーマンステスト	◎	○		◎	

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

英文法を学ぶ理由は、英文ができるルールを知り、実際の場面で使えるようにすることです。この法則を知っていることで、どこの国のどの年齢の人ともコミュニケーションがとれるようになります。英文法を知識で終わらせず、既習の表現を使える(話す、書く)よう練習しましょう。声に出し話してみたり、作文してみたり、反復することが大切です。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	L1.How interesting Japanese culture is!	5	【時制】さまざまな時を表す
5	L2.Wonderful places to visit in Japan	6	【助動詞】可能・義務・必要などを表す
6	L3.Precious water for all	8	【受動態】「～される」を表す
7	L4. What has happened recently?	8	【不定詞・動名詞】「～すること」などを表す (to do / doing)
8	L5. I'm into music and movies!		【分詞】doing / done を使って説明する
9	L6.Where do you usually buy clothes?	6	【関係詞】人・物・時や場所などについて説明する
10	L7. What kind of books do you like best?	9	【比較】比較を表す
11	L8.Inventions that changed the way we live Part 2 L1. Can you come to our party?	11	【仮定法】仮定を表す 感謝する／謝罪する
12	L2. I'm sure you can make it!	9	心配を述べる／励ます／感想を述べる
	L3. How about trying this food?		提案する／勧誘する／好みを述べる
1	L4. Tips for staying healthy	8	助言する／忠告する
	L5. I'm taking part in some volunteer activities tomorrow		依頼する
2	L6. Where would you like to live in the future? L7.Which candidate is the right person?		賛成する／反対する 意見を求める／意見を述べる
3	Further Activity 1・2・3・4 70		例示・列挙, 比較・対照 原因・結果, 時間的順序・手順
備考	・1年次に論理表現Ⅰで使用した教科書も引き続き使用する ・テストの実施に関することなど詳細は授業の中で連絡する		

教科	英語	科目名	論理表現Ⅲ	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次 必修
教科担任							
使用教科書		EARTHRISE English Logic and ExpressionⅢ Advanced					
副教材等							
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

多様な語句や文を用いて

1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え、立場や状況が異なる相手と交渉することができる。
2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく話して伝えることができる。
3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、詳しく書いて伝えることができる。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	学んだ知識を用いて、主張する、説得するときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけている。
②思考・判断・表現	相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、論理的に主張したり、相手を説得したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。
③主体的に学習に取り組む態度	自分の活動を振り返り、適切な表現を用いて、論理的に主張したり、相手を説得したりするために、自分の考えや気持ちなどを自分の言葉で詳しく表現しようとしている。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	単元テスト	パフォーマンステスト	パフォーマンステスト
①知識・技能	授業、単元テスト、パフォーマンステスト	○		◎	○	
②思考・判断・表現	授業、単元テスト、パフォーマンステスト	◎		◎	○	
③主体的に学習に取り組む態度	授業、課題提出、パフォーマンステスト	○	◎			○

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

2年次の教科書HOPE VISION QUEST English Logic and ExpressionⅡを引き続き使用しますので、持ってきて下さい。論理的な文章を書くために、まとまった文章を「書く」「話す」ために必要な文法機能や構成をしっかりと学んでいきましょう。さらにパフォーマンステストでは、テーマに沿って自分の意見を書いたり、述べたりまとめられることが求められます。基礎・基本を積み上げながら、自分の考えを相手に伝えることができるように力をつけていきましょう。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	ガイダンス Lesson1 Lesson2	1 4	coming to Japan online shopping
5	文法復習① Lesson3	8	受動態 preparing to study abroad
6	文法復習② Lesson4	9	不定詞 24-hour stores
7,8	文法復習③ Lesson5 Lesson6	8	分詞構文 Smart Agriculture Aiman, the household robot
9	文法復習④ Lesson7 Lesson8	8	現在完了 recipes A helping hand
10	文法復習⑤ Lesson9	8	助動詞 International science fair
11	文法復習⑥ Lesson10	8	関係詞 Future career plans
12	文法復習⑦ Lesson11 Lesson12	4	時制 Media reliability Garbage problems
1	総復習	2	現在、過去、未来
備考	パフォーマンステストを年数回実施予定（詳細は授業の中で）		

教 科	英語	科目名	私大英語 講読	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次 選択
教科担任		Loop 1 最新の入試傾向に基づく英語長文問題集 (啓隆社)					
使用教科書		コーパス3000 4th Edition (東京書籍)					
副教材等							
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

- ・様々な内容の英文や、多種多様な表現の英文を理解することができる。
- ・日常的な内容の英文や、アナウンスを聞き取り、理解することができる。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	文法的に気を付けつつ、多種多様な表現方法を用いて、伝えたいことを伝えることができる。
②思考・判断・表現	様々な内容の英文や、多種多様な表現の英文を理解することができる。 様々な種類の英文を聞いて、相手が伝えたいことを聞き取ることができる。
③主体的に学習に取り組む態度	英語の理解力向上のために日々、英語を意欲的に学習している。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観 点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	単元テスト	単語テスト	
①知識・技能	授業、課題提出、単元テスト、単語テスト	○	○	◎	○	
②思考・判断・表現	授業、課題提出、単元テスト、単語テスト	○	○	◎	○	
③主体的に学習に取り組む態度	授業、課題提出	◎	◎			

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

講座の内容としては、私立大学入試に向けた問題演習がメインになります。リスニングとリーディングと並行して勉強していくことにより、より高いリーディング力を身に付けることを目標とします。英語が苦手な生徒にとっては厳しい戦いになりますし、英語の力は1日、2日では伸びません。地道な努力が実を結ぶのです。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	イントロダクション Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4	6	テーマ: 化学 テーマ: 社会 テーマ: 心理 テーマ: 社会
5	Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7	6	テーマ: 化学 テーマ: 伝記 テーマ: 生活
6	Lesson 8	6	テーマ: 生物
7,8	Lesson 9 Lesson 10	6	テーマ: 社会 テーマ: 技術
9	Lesson 11 Lesson 12	6	テーマ: 技術 テーマ: 心理
10	Lesson 13 Lesson 14	6	テーマ: 化学 テーマ: 考古学
11	Lesson 15 Lesson 16	6	テーマ: エッセイ テーマ: 音読
12 1	文法復習	4	その他プリントを準備
備考	パフォーマンステストを年数回実施予定（詳細は授業の中で）		

教 科	英語	科目名	カレントイングリッシュ	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次 選択
使用教科書							
副教材等							
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

2年間を通じて学習してきた英文法を用いて、自分の表現したいことを表現できる。
英語の対話や説明を聞いて、理解できる。
外国語での対話を通じて、異文化交流を楽しむことができる。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	学んだ知識を用いて、主張、説得するときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけていたか。
②思考・判断・表現	相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用いて、論理的に主張したり、相手を説得したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現していたか。
③主体的に学習に取り組む態度	自分の考えや気持ちなどを自分の言葉で詳しく表現しようとしていたか。英語を自己表現のツールにするために、課題等に意欲的に取り組もうとしていたか。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観 点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	パフォーマンステスト	活動	
①知識・技能	授業、課題提出、活動	○	○		○	
②思考・判断・表現	授業、課題提出、活動、パフォーマンステスト	○	○	○	○	
③主体的に学習に取り組む態度	授業、課題提出、活動、パフォーマンステスト	○	○	○	○	

以上を総合的に判断して決定します。

3 担当者から

これまでインプットした知識や技能の実践的な運用を普段の授業やパフォーマンステストで測ることで、各観点の評価の柱とします。いわゆる「英会話」等にも挑戦してほしいと思っています。
英語4技能の中でも特に「聞くこと」「話すこと」に重点を置いて外国語でコミュニケーションを取ることを楽しみ、自分の考えを相手に伝えることができるように力をつけていきましょう。パフォーマンステストには担当教員だけではなく、ALTや外部の講師との関わりも作っていくつもりです。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	ガイダンス、自己紹介動画の作成	5	自己紹介、質問の仕方、ペアワークでの自己紹介、簡単な会話練習
5	映画の字幕作成	8	リスニング強化、翻訳の工夫、映画のワンシーンを英語字幕で視聴し、自分たちで日本語字幕を作成
6	異文化理解ディスカッション	9	異文化比較、ディスカッション、さまざまな国の文化について学び、ディスカッション
7	英語でプレゼンテーション、異文化理解ディスカッション	4	異文化比較、ディスカッション、プレゼンスキル、発音、好きなテーマで英語プレゼンを作成し発表
8	英語でプレゼンテーション、夏休みの思い出の英作文	5	プレゼンスキル、発音、好きなテーマで英語プレゼンを作成し発表、英作文の構成、表現力、夏休みの出来事を英語で書き、クラス内で発表
9	AIとのロールプレイ	8	会話の即興力、発音練習、AIチャットツールを使って対話練習、発話のフィードバック
10	海外旅行シミュレーション	8	実践英会話、リスニング、空港やレストランでの英会話をロールプレイ
11	海外旅行シミュレーション	9	実践英会話、リスニング、空港やレストランでの英会話をロールプレイ
12	将来の夢を英語で語る	5	自己表現、スピーチ、自分の夢や目標について英語でスピーチ
1	将来の夢を英語で語る 60		自己表現、スピーチ、自分の夢や目標について英語でスピーチ
備考	単元に関わるパフォーマンステストを年数回実施予定（詳細は授業の中で）		

教科	英語	科目名	総合英語講読 (探求英語)	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次 選択
使用教科書		共通テストドリル 英語リスニング 10 minutes 改訂第3版 共通テストドリル 英語リーディング 10 minutes 改訂第3版					
副教材等		コーパス3000 4th Edition(東京書籍)					
備考(履修条件等)							

1 科目の学習到達目標

様々な内容の英文や、多種多様な表現の英文を理解することができる。
日常的な内容の英文や、アナウンスを聞き取り、理解することができる。

2 学習の評価(評価の観点及び評価方法)

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けることができたか。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できたか。
②思考・判断・表現	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合えることができたか。
③主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしていたか。

(2) 評価の方法(以下観点①～③は「(1)評価の観点」と対応する。)

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度				
		授業	課題提出	単元テスト	パフォーマンステスト	休業明けテスト
①知識・技能	単元テスト、パフォーマンステスト、休業明けテスト			◎	○	○
②思考・判断・表現	単元テスト、パフォーマンステスト、休業明けテスト			◎	○	○
③主体的に学習に取り組む態度	授業、課題提出	◎	◎			

以上を総合的に判断して決定します。(◎はより重視される観点)

3 担当者から

講座の内容としては、共通テストに向けた問題演習がメインになります。リスニングとリーディングを並行して勉強していくことにより、共通テストに向け、より高いリーディング力やリスニング力を身に付けることを目標とします。英語が苦手な生徒にとっては厳しい戦いになりますが、地道な努力を継続し、力をつけましょう。

4 年間指導計画

月	単元	授業 時数	項目・学習内容
4	Lesson1～Lesson4	5	メモや告知の読み取り 短い発話の聞き取り
5	Lesson5～Lesson8	7	身近な資料の読み取り 指示・説明文の聞き取り
6	Lesson9～Lesson12	8	意見文の読み取り 短い発話の聞き取り（イラスト）
7	Lesson13～Lesson16	6	日常の出来事の読み取り 議論の聞き取り
8	Lesson17～Lesson20	3	レポートや資料の読み取り 短い対話の聞き取り（イラスト）
9	Lesson21～Lesson24	7	伝記や物語文の読み取り 対話の聞き取り
10	Lesson25～Lesson28	9	説明文の読み取りA 短い対話の聞き取り
11	Lesson29～Lesson32	7	説明文の読み取りB 複数の説明の聞き取り
12	Lesson33	5	情報の読み取りと整理 講義の聞き取り
1	Lesson34	3	エッセイの原稿の推敲 共通テスト対策
備考			